

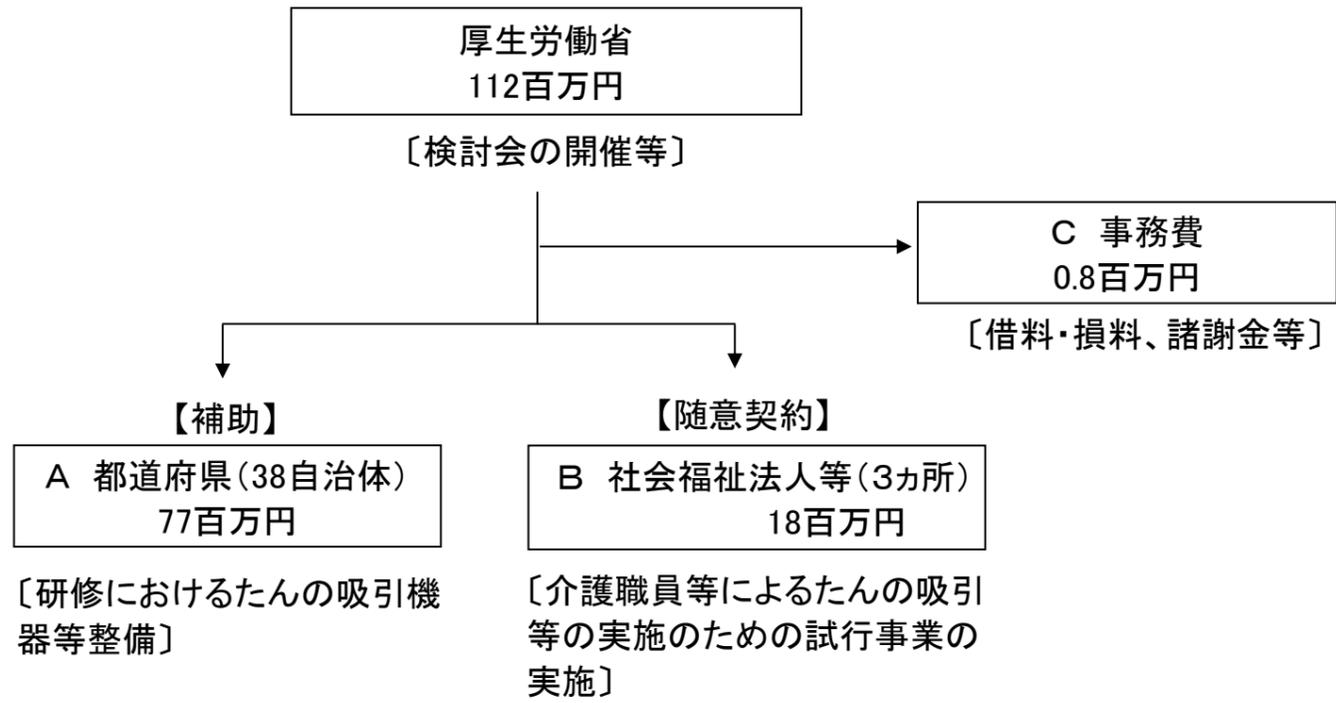
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	看護職員と介護職員によるケア連携強化研修事業		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	開始:平成22年度 終了:平成23年度		担当課室	障害福祉課		土生 栄二		
会計区分	一般会計		施策名	IV-7-1 障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備し、障害者の地域における生活を支援するとともに、自殺対策を推進する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医師・看護職員との連携・協力の下に、たんの吸引等が必要な高齢者や障害者に対して、必要なケアをより安全に提供するため、たんの吸引等の医療的ケアを行うことができる介護職員等を養成する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県において、たんの吸引や経管栄養を行うことができる介護職員等を養成する研修事業を実施するため、講師や実習指導者となる医師・看護職員に対し、必要な研修を検討・実施する。 ○ 試行事業として、介護職員等に対するたんの吸引等の研修を実施する。 ○ 平成23年度たんの吸引等の実施のための研修事業における実習施設に対し、研修に必要なたんの吸引機器等を整備する。 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算			2	9		
		繰越し等			94			
		計			112	9		
	執行額				95			
	執行率 (%)				84.8%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	たんの吸引等の医療的ケアを行うことができる介護職員等については、各自治体において研修ニーズに応じて養成されるものであることから、国で一律の目標は定めていない。		成果実績	人			-	-
			達成度	%			-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	試行事業に参加する介護職員等数		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	60 (60)	- (-)
単位当たりコスト	294千円		算出根拠	17,638千円(試行事業委託経費) / 60人(試行事業参加介護職員等数) = 294千円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	調査委託費	9		事業の終了による減。				
	計	9						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	試行事業については、医療関係者の統括の下、医療面の管理体制が整っているのが前提条件であり、また、その事業効果を検証するためにはより正確に結果を把握する必要があることから、障害福祉に関する十分な知識・調査経験を有する団体等による最適な判断、評価が要求されることから、専門的知識を有する者等を確保できる団体等の持つノウハウを競わせる企画競争入札方式によることとした。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	23年度における講師・実習指導者に対する研修実施については、効率的な研修の実施を検討する。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	事業実施の効率化の観点から他事業との統合を図るなど見直しを行うこと		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
老健局の事業と統合して、社会・援護局で要求。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.東京都等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	たんの吸引機器等の購入	77			
計		77	計		0
B.全国社会福祉協議会等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	研修講師謝金	6			
旅費	講師等旅費	5			
人件費	職員、賃金職員の人件費	3			
報償費	介護事業所協力金等	2			
その他	研修会場の賃料等	2			
計		18	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	たんの吸引機器等の購入	6		
2	京都府	たんの吸引機器等の購入	4		
3	兵庫県	たんの吸引機器等の購入	4		
4	富山県	たんの吸引機器等の購入	3		
5	沖縄県	たんの吸引機器等の購入	3		
6	愛知県	たんの吸引機器等の購入	3		
7	山形県	たんの吸引機器等の購入	3		
8	北海道	たんの吸引機器等の購入	3		
9	福岡県	たんの吸引機器等の購入	3		
10	新潟県	たんの吸引機器等の購入	3		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国社会福祉協議会	介護職員等によるたんの吸引等の実施のための試行事業の実施	9		
2	日本訪問看護振興財団	介護職員等によるたんの吸引等の実施のための試行事業の実施	5		
3	ALS/MNDサポートセンター さくら会	介護職員等によるたんの吸引等の実施のための試行事業の実施	5		